

## 戦略1 すべてのこどもたちが夢を育みチャレンジできる環境を創出

本市の誇る「子育て支援が充実している」姿を一層高めるため、家庭環境や境遇に関わらず、すべてのこどもたちが夢を育み、夢へのチャレンジをまち全体で応援できる環境を構築するとともに、来るべき未来社会を見据え、こどもたちが社会の変化とともに自らを成長させ続け、生き抜いていける確かな力を身につけるための環境を整備します。

### ＜重点事業1-1 こどもたちの夢への挑戦を応援＞

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
こまきこども未来大学の受講者数	139人	—	—	—	190人	240人
駒来塾の参加者数	74人	—	—	—	100人	120人

### ＜重点事業1-2 子育て家庭への支援を強化＞

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
子育て世代包括支援センターや各児童館(子育て支援室)での相談件数	7,976件	—	—	—	8,500件	9,000件
子育てについて相談できる人がいる保護者の割合	96.5%	—	—	—	100%	100%

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

<重点事業1-3 未来を見据えた教育環境の整備>

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
タブレットを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	82.2%	-	-	-	85.0%	87.0%
新たな学校づくり推進計画の策定	設定なし	-	-	-	策定	設定なし

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



## こども夢・チャレンジ推進事業

こども未来部 こども政策課  
教育委員会事務局 学校教育課

1 予算額 17,814千円

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

3 事業概要

### ○夢にチャレンジ助成金支給事業 1,978千円(こども政策課)

自分の夢を実現するための計画を募集し、チャレンジしたい内容をプレゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給します。

【対象】 15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等及び市内在学の学生。本人もしくは、保護者が住民登録等。(市内在学の場合は住民登録がなくても可。)

【助成額】 上限30万円

自分の夢を自ら考え、その夢を発表する場を設け、将来助成金を利用してもらおう契機とします。

【対象】 市内在住の中学生

【発表記念品】 図書カード1万円分 【参加記念品】 図書カード1千円分

### ○大学生等海外留学奨学金支給事業 4,900千円(こども政策課)

海外の大学等に、3か月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対象】 15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等。本人もしくは、保護者が住民登録等。

【助成額】 留学先の国・地域に応じて、12か月を上限として、月額4～5万円を支給。

○学習支援事業「駒来塾」5,104千円(こども政策課)

家庭環境により家で学習する機会がない、経済的理由により学習塾に通えないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

【対象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教室】 東部地区(篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中)

北里地区(北里中・小牧西中)

味岡地区(味岡中・岩崎中)

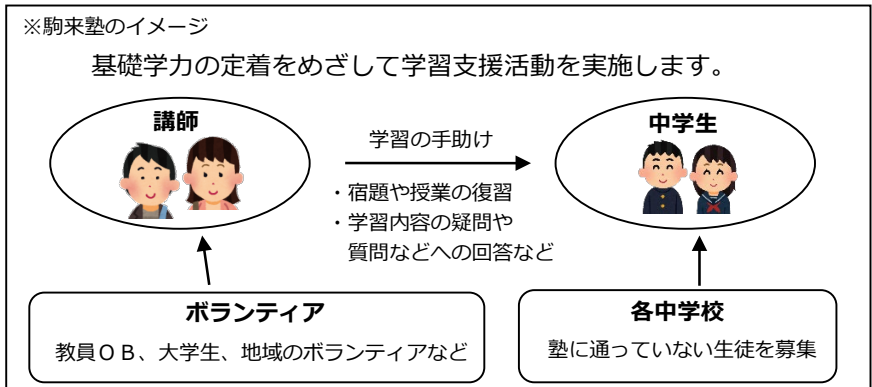
小牧地区(小牧中・応時中)

【開催日】 毎週木曜日 午後6時30分～8時

【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、

味岡市民センター、中部公民館

【参加費】 無料



○JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業 5,832千円

(学校教育課)

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(日本サッカー協会)のカリキュラムにより、様々なスポーツ選手が「夢先生」となり、小学校5年生を対象の「夢の教室」と題した90分の授業を学校で実施します。夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さを伝え、こどもたちの精神的な成長を図ります。

## 高校・大学等進学支援事業

福 祉 部 福祉総務課  
教育委員会事務局 学校教育課

1 予 算 額 13,200千円

2 目的及び効果 進学する向上心に富みながらも、経済的に困難な状況にある学生・生徒の進学を支援します。

### 3 事業概要

#### ○大学等進学応援交付金支給事業 1,200千円(福祉総務課)

親からの援助を受けることが困難な状況にありながら、大学等に進学した学生に対し応援交付金を支給します。

【対 象】児童福祉施設等に入所措置されている大学生等及び  
進学を理由に生活保護世帯から世帯分離された大学生等

【助成額】年間12万円

#### ○奨学金交付事業 12,000千円(学校教育課)

経済的に恵まれない生徒が高等学校等へ進学する場合に、  
入学準備金を交付します。

【対 象】小牧市の中学校を卒業し、高等学校等へ進学する  
向上心に富み、経済的に恵まれない生徒

【助成額】12万円

# こまきこども未来館運営事業

こども未来部 多世代交流プラザ

1 予 算 額            135,721千円

## 2 目的及び効果

「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」の理念を実現する施設として、「未来リテラシーを育む」というコンセプトのもと、子ども達にこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供し、小牧の子ども達やまちの「成長のシンボル」として、いつまでも愛される施設を目指して運営します。

## 3 事業概要

### (1)こども未来館受付業務及び講座開催委託

地域のサポーターや企業などと協力し、体験ひろばにおいて、遊びや体験を通じて子ども達自身の学びにつなげられる講座の開催や子どもが主体的に参画できる取組を実施するとともに、中高生の居場所となるように自主的な活動を支援していきます。

### (2)こまき巡回バス運賃負担

市内全域の児童が気軽にこまきこども未来館に来館できるよう、こまき巡回バス「こまぐる」を利用した際の児童の運賃を市が負担します。



## 保育料無償化拡充事業

こども未来部 幼児教育・保育課

1 予 算 額 63,604千円

(歳入影響額 △152,380千円)

2 目的及び効果 人口減少及び少子化が進展している状況の中、物価高騰などの影響により、負担が増加している子育て世代の負担軽減、より手厚い子育て支援を行うため、保育園等を利用する児童の保育料の無償化を市独自に拡充します。

これにより、「子育てしやすいまち」、「子育て支援が充実しているまち」を市民に実感していただき、いつまでも「住みたい」、「住み続けたい」と思えるまちづくりの実現を推進します。

3 事業概要

令和元年10月より無償化の対象となっている3歳児から5歳児に加え、市独自の少子化対策の拡充として、市内の保育園(21園)、認定こども園(2園)、小規模保育事業所(20園)に通う、0歳児から2歳児までの園児の保護者負担金(保育料)を所得、児童の出生順位に関わらず、無償とします。





## 給食費負担軽減事業

教育委員会事務局 学校給食課

1 予算額 1,858千円  
(歳入減額 199,951千円)

2 目的及び効果 多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減を図ることにより、子育て支援をより一層強化し、「子育てしやすいまち」として、「こども夢・チャレンジ No.1都市宣言」の達成を目指します。

### 3 事業概要

同一生計で子どもを2人以上扶養している保護者に対して、市立小中学校に通う第2子中学生・第3子以降小中学生の給食費を無償化します。



#### ○無償化となる条件

1. 同一生計で扶養している2番目の子どもが中学生、3番目以降が小中学生であること。
2. 保護者及び対象となる子どもが小牧市に住所を有すること。
3. 対象となる子どもが市立小学校・中学校で給食の提供を受けていること。
4. 生活保護による給食費相当分の補助を受けていないこと。

## 充実 子育て世代包括支援センター運営事業

こども未来部 子育て世代包括支援センター

1 予算額 307,091千円

2 目的及び効果

妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。



3 事業概要

○ **充実** 妊娠・出産包括支援事業 7,309千円

産後うつ対策として、産後に心身の不調又は育児不安があり家族から支援が得られない産婦とその児を対象に心身のケアや育児サポートを行い安心して子育てができるよう支援します。利用者のニーズに合わせ、訪問型支援を中心に拡充を行います。

主な継続事業

○ 一時預かり事業 26,140千円

○ 産前産後ヘルパー派遣事業 726千円

○ 母子保健型利用者支援事業 8,543千円

○ 妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 126,473千円

○ 子ども家庭総合支援拠点事業 20,309千円

○ 女性相談事業委託 5,263千円

○ すくすく子育て応援事業 112,328千円

# 児童生徒1人1台タブレット整備事業

教育委員会事務局 学校教育ICT推進室

1 予算額 22,447千円

2 目的及び効果 モバイル性に優れ、使い勝手の良い児童生徒用タブレットを整備することにより、安全で快適なICT教育環境を整備します。

## 3 事業概要

### ○令和元年度整備分

令和6年8月末にリース期間満了となる生徒用タブレット約1,200台(小牧中学校、篠岡中学校、光ヶ丘中学校分)を更新します。

### ○令和2年度整備分(GIGAスクール構想分)

令和7年12月末にリース期間満了となる児童生徒用タブレット(全小学校、上記3校以外の中学校分)の更新に向けて、調達方法及び仕様等を検討します。



# 米野小学校改築事業

教育委員会事務局 教育総務課

1 事業年度 令和4年度～

2 予算額 190,272千円

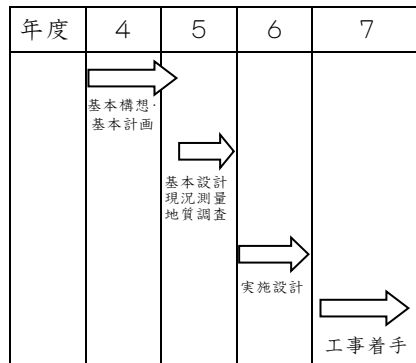
3 目的及び効果 米野小学校は、昭和45年に開校し、すでに建築後50年以上が経過し、建物が老朽化しています。さらに、児童数の増加により、教室数が不足し、一時的な措置として、仮設校舎を建設し対応しています。

これらの課題を解消するため、米野小学校を改築することで、安心して学ぶことのできる学習環境と快適に過ごせる施設環境が提供できます。

4 事業概要 令和6年度は、令和5年度に実施した基本設計を基に、実施設計を実施します。



現在の米野小学校



改築スケジュール

# 新たな学校づくり推進計画策定事業

教育委員会事務局 教育総務課

1 事業年度 令和5年度～令和6年度

2 予算額 9,094千円

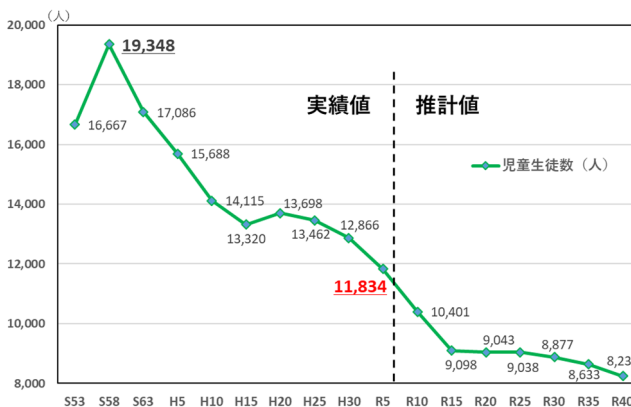
## 3 目的及び効果

学校施設の老朽化や児童生徒数の減少が進む中、将来を担う子どもたちに充実した教育環境を整えるため、小牧市における学校施設の適正規模・適正配置や子どもたちにとってより望ましい教育環境の基本的な考え方を総合的に整理した計画を策定し、将来の教育環境の整備（建替え・大規模改修・統廃合）の方針とします。

## 4 事業概要

- ・新たな学校づくり推進計画検討委員会の開催
- ・計画(案)の作成
- ・パブリックコメントの実施

### 児童生徒数の推移と推計





## 戦略2 “健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことができる「活力ある高齢社会（小牧モデル）」を構築

すべての市民が健康で生きがいのある人生を生きつつ、市民同士が地域で互いに支え合い助け合う、「健康」と「支え合い」が循環する仕組みを構築します。健康づくりでは、人生100年時代の到来に備え、生涯にわたって元気に活躍できるよう、心身ともに「健康」な状態を保つとともに、支え合い活動では、個人の学びを地域に還元できる支え合いの担い手を育成します。

### ＜重点事業2-1 人生100年時代の健康づくり＞

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	53.6% (令和3年度)	—	—	—	65.0%	70.0%
フレイルチェック測定会参加者数	119人	—	—	—	600人	1,100人

### ＜重点事業2-2 生涯学習を通じた生きがいづくりと地域を支える人材育成＞

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
生涯学習に関する講座の受講者数	5,884人	—	—	—	10,000人	12,000人
ボランティア新規登録者数(累計)	17人 (令和3年度)	—	—	—	450人	680人

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は( )書きで基準年度等を示しています。

<重点事業2-3 健康づくり・地域の支え合い活動の循環>

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
こまきいきいきポイント還元者数	4,395人	-	-	-	5,300人	6,000人
福祉分野の活動をしている地域協議会の割合	69.2%	-	-	-	78.6%	86.7%
市内限定商品券が使える店舗数	604店	-	-	-	現状維持	現状維持

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



## 新規

## 健康増進施設整備・運営事業

健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課

1 予算額 42,889千円(債務負担行為 24,200千円)

2 目的及び効果 健康づくりとフレイル予防を推進する拠点となる施設を多世代交流プラザ内に整備し、子どもからお年寄りまで、それぞれのライフステージにあった健康づくりやフレイル予防に取り組むための“気づき”や“きっかけ”を提供し、習慣化を目指します。

## 3 事業概要

- 気軽に自分の「健康度」を測定でき、健康意識を醸成するとともに、さまざまな健康に関する情報発信を実施します。
- 日頃の食生活の改善に向けた栄養相談などを実施します。
- 成人期をメインターゲットとし、日常生活の中で健康になれる方法の普及啓発を行います。
- 高齢期を対象とし、フレイルチェックシステムを活用した気づきの支援を行うとともに、外出支援を含めた買い物リハビリテーションを実施します。



## 高齢者外出支援事業

福祉部 地域包括ケア推進課

1 予算額 18,891千円

2 目的及び効果 介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、一般タクシーやリフト付きタクシー等の利用料金の一部を助成する利用券を交付することにより、高齢者の日常生活における外出支援及びその家族の負担軽減を図ります。

### 3 事業概要

#### (1) 高齢者タクシー料金助成事業

要介護1以上の方を対象とし、行き先を限定しない一般タクシーの初乗料金分の利用券を交付します。

【利用券】初乗料金分(24枚/年)

#### (2) 高齢者外出支援サービス事業

要介護3以上の方を対象とし、行き先を医療機関や福祉サービスの実施場所までに限定したリフト付きタクシー等料金の一部を助成する利用券を交付します。

【利用券】1時間又は20kmまで(24枚/年)



## 充実

# こまき市民交流テラス ワクティブこまき運営事業

健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課

- 1 予算額 29,552千円
- 2 目的及び効果 市内で行われている市民活動、ボランティア活動、地域活動、生涯学習活動等様々な活動をつなぐ拠点として、ライフスタイルに応じたまちづくりへの参画機会の提供と地域を支える人材を育成します。

### 3 事業概要(新規または充実を図る事業のみ記載しています)

#### 充実(1)こまき市民活動祭

団体やボランティア、企業などが一堂に集まり、市民活動の楽しさと大切さを紹介します。また、「こどものまち」と同時開催することにより多世代交流を促進します。



#### 充実(2)ボランティアマッチング事業

ボランティアや社会貢献活動に興味を持つ市民と、人手を必要としている団体のコーディネートを行います。また、ボランティア情報配信LINEやボランティア募集サイトなどデジタルを活用し、積極的なボランティア情報の発信や団体とのマッチングを行います。

#### 充実(3)わかもの担い手育成事業

まちづくりに関心を持つ若者の人材育成を目的とし、「こどものまち」事業の企画および運営を通して社会貢献への興味・関心を高める働きかけを行います。



#### 新規(4)オトナのちょこボラカレッジ

健康づくりや生きがいづくり講座などを交えながら、様々な活動事例を知ることで、地域課題について考えるきっかけづくりをします。

## 地域協議会設立推進・活動支援事業

健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課

1 予 算 額 33,000千円

2 目 的 近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区(自治会)やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する小学校区の新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

3 効 果

- ◆意識高揚 ～誇りと愛着のある地域づくり～
- ◆相互補完 ～相乗効果を生み出す地域づくり～
- ◆課題解決 ～自ら取り組む特性を活かした地域づくり～

4 事業概要

- 地域協議会への財政支援及び人的支援  
地域助け合い交付金、市職員による地域パートナー制度など
- 設立に向けた機運の醸成、地域への働きかけ  
講演会や勉強会、説明会等の開催など
- 必要に応じた制度の見直し  
地域協議会代表者会議の開催など

## 地域協議会の設立状況

	小学校区名	設立年月日(認定年月日)
1	陶	平成26年3月2日 (令和2年4月1日)
2	篠岡	平成27年4月5日 (令和2年4月1日)
3	小牧原	平成28年4月24日 (令和2年4月1日)
4	大城	平成29年6月25日 (令和2年4月1日)
5	本庄	平成30年2月25日 (令和2年4月1日)
6	味岡	平成30年3月24日 (令和2年4月1日)
7	光ヶ丘	平成30年11月10日 (令和2年4月1日)
8	小木	平成30年11月25日 (令和2年4月1日)
9	桃ヶ丘	令和元年6月23日 (令和2年4月1日)
10	小牧	令和元年10月26日 (令和2年4月1日)
11	北里	令和元年12月7日 (令和2年4月1日)
12	三ツ渚	昭和54年12月23日 (令和2年5月25日)
13	一色	令和2年6月1日 (令和2年6月5日)

## 地域協議会の主な活動内容

## ■課題解決事業

防災訓練、高齢者の生活支援活動、通学路の見守り活動等の地域の課題解決に向けて取り組む事業

## ■交流促進事業

まつり、運動会、コンサート等の地域住民の交流を深めるために学区で取り組む事業



▲宝探し！オリエンテーリング(大城)



▲あおぞら市場(桃ヶ丘)

## 健康いきいきポイント推進事業

健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課

1 予算額 8,969千円

2 目的及び効果 市民がいつまでも健康で暮らし続けることができるよう、健康づくりの習慣と関心を高め、楽しく継続できる環境づくりを推進することにより、健康寿命の延伸を目指します。

### 3 事業概要

#### (1) 健康いきいきポイント(対象:中学生以上の方)

日常的な健康づくりの取組や検診、健康に関する講座等に参加することでポイントを付与し、一人ひとりの健康づくりを促進します。

#### (2) 子ども版健康いきいきポイント(対象:小学生)

家族と一緒に取り組んだ健康づくりの基本である「食・睡眠・運動・歯みがき」等に関連する取組に対しポイントを付与し、家族ぐるみの健康づくりを促進します。

#### (3) スマートフォン用ウォーキングアプリalko

誰でも気軽に取り組めるウォーキングを推進し、継続した運動習慣の確立を促進するため、スマートフォン用ウォーキングアプリ「alko」により様々なチャレンジ企画を実施します。

各種チャレンジの実践により獲得したポイントは、抽選で“市内限定商品券”に交換できます。





## 支え合いいきいきポイント推進事業

健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課  
福祉部 介護保険課

- 1 予算額 2,172千円(一般会計)  
3,659千円(介護保険事業特別会計)
- 2 目的及び効果 介護施設やサロン等でのお手伝い、高齢者のちょっとした困りごと支援などを通じ、地域での支え合い・助け合い活動の促進や、高齢者の介護への理解を深めます。
- また、活動に応じて、市内限定商品券と交換できるポイントを付与することで、活動に参加するきっかけづくりや、活動を続けていく励みになります。

### 3 事業概要

#### ■介護施設ポイント

内 容	市が指定する介護施設等での補助的なお手伝い(イベント、清掃など)をした場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	介護への理解を深めるとともに、やりがいを感じながら、健康づくりを促進



▲コハルデイサービス「折り紙」



## ■サロンポイント

内 容	サロン等の運営(参加者の受付、準備、片付け)に協力した場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	サロン等の運営の協力者を募る仕組みをつくり、サロン活動を活性化



▲ラホールカフェレクリエーション

## ■地域ポイント

内 容	日常生活におけるちょっとした困りごと(庭の草取り、電球交換等)を支援した場合にポイントを付与 ※対象:地域協議会設立小学校区の
対象者	18歳以上の市民(地域協議会が設立されている小学校区の区域内に在住)
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	地域協議会の協力者を募る仕組みをつくり、地域の支え合い活動を支援



▲味岡おたすけ隊「除草作業」

## こまきプレミアム商品券発行助成事業

地域活性化営業部 商工振興課

1 予算額 263,000千円

2 目的及び効果 小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」に対して補助を行い、市民生活を支援するとともに、地域の身近な店舗である市内の商業者を支援して、地域経済の活性化を図ります。

3 事業概要 平成23年度から小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」について、令和6年度は、燃料価格や物価の高騰対策のため、プレミアム率を20%として、総額14億4,000万円分のプレミアム商品券を発行して一定の規模で継続します。

(参考:令和5年度商品券)

え～なも券



小牧山城天下とり隊 徳川家康

い～なも券



名古屋コーチンPRキャラクター こまちゃん



**戦略3 「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧を創造**

市民の愛着や誇りを醸成し、市内外から支持される魅力あるまちづくりを進めるとともに、本市の強みであるバランスの良い産業集積を持続的に高め、企業の新事業展開や生産性の向上を支援し、将来にわたって経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを構築します。

「小牧市中心市街地グランドデザイン」による中心市街地の魅力とにぎわいを創出するとともに、「東部振興構想」に基づく新たな魅力の創出や魅力の再発見を通じて、誰もが暮らしたくなる東部のまちづくりを進めます。また、北西部地区についても、道路や北西部地区公園などの基盤整備を計画的に進めます。

＜重点事業3-1 関係人口の拡大・深化＞

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
市政情報に関する動画の閲覧数（累計）	105万回	—	—	—	190万回	280万回
ふるさと納税の寄附者数	56,088人	—	—	—	74,000人	89,000人

＜重点事業3-2 魅力と活力ある中心市街地の創出＞

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
中心市街地まちづくりプラットフォーム登録者数	96人	—	—	—	130人	210人
中心市街地に立地している主な公共施設の来館者数	101万人	—	—	—	105万人	110万人
史跡小牧山を訪れた人の数	35万人 (令和4年)	—	—	—	38万人	41万人

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

＜重点事業3-3 夢と希望あふれる東部地域の振興＞

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
東部まちづくりプラットフォーム登録者数	75人	—	—	—	140人	180人

＜重点事業3-4 市内産業力の強化と地域経済の活性化＞

指標名	基準値	R6	R7	R8	目標値	
					R8	R12
企業新展開支援プログラムを通じた支援件数	919件	—	—	—	930件	940件
魅力あるふるさと納税返礼品の種類	378品	—	—	—	650品	930品

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

充実

都市ブランド戦略推進事業

市長公室 秘書政策課

1 予算額 3,330千円

2 目的及び効果 市民が「愛着や誇りを感じるまち」「住み続けたいと思うまち」を目指して都市ブランド戦略を推進します。

3 事業概要

○ ブランドムービーの制作

市民の愛着と誇りの醸成を図るため、市民とともに都市ブランドコンセプトに基づいたブランドムービーを制作します。



# 小牧駅周辺整備事業

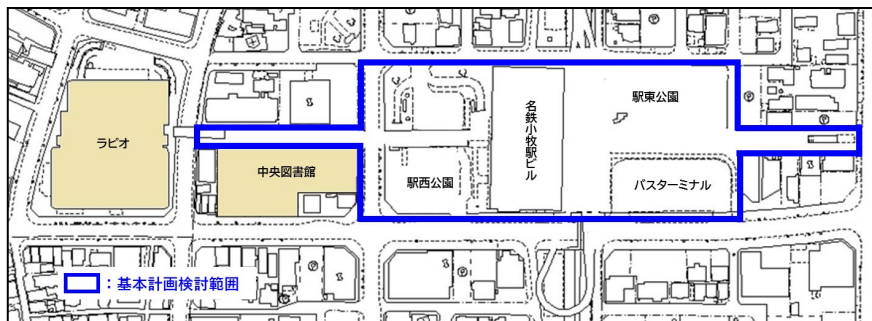
都市政策部 都市整備課

1 予算額 14,600千円

2 目的及び効果 名古屋鉄道(株)と連携・協力しながら、交通結節点機能の強化、集い・憩いの場の創出等を図るため、小牧駅前広場等の再整備を進め、小牧市中心市街地ランドデザインの取組方針である「訪れたいまち・住みたいまち・活力があるまち」の実現を目指します。

### 3 事業概要

令和6年度は、令和5年度に引き続き、東西の駅前広場、都市公園及び名鉄小牧駅ビルを一体的に捉えた小牧駅前広場等の再整備の検討を進め、交通結節点機能の強化、集い・憩いの場の創出等を図ることを具現化する「小牧駅前広場等整備基本計画」を策定します。



## 小牧山東公園整備事業

都市政策部 みどり公園課

- 1 事業年度 令和4年度～
- 2 予算額 25千円(債務負担行為 241,200千円)
- 3 目的及び効果 小牧市中心市街地グランドデザインに基づき、旧図書館跡地において、官民連携により地域住民や訪れた人が立ち寄り、憩い、交流できる公園を整備し、将来にわたって魅力と活力の続くまちづくりを進めます。
- 4 事業概要 令和6年度は、公募により選定された民間事業者による設計・施工に着手し、令和7年度の早い時期での供用開始に向けて公園整備を進めます。





# 史跡小牧山整備事業

教育委員会事務局 小牧山課

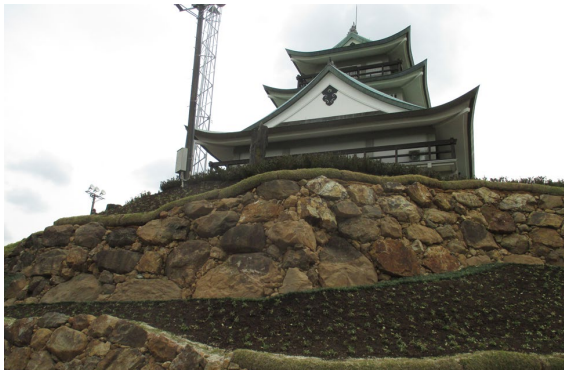
1 予 算 額            104,865千円

## 2 目的及び効果

小牧市のシンボルである史跡小牧山の発掘調査によって得られた成果をもとに、織田信長が築いた石垣復元などの史跡整備を進めることによって、小牧山が市民の誇りと愛着を持てる場となるとともに、市民や市外からの来訪者に対して史跡小牧山の歴史的価値や魅力をよりわかりやすく伝えることができます。

## 3 事業概要

史跡小牧山主郭地区のうち山の中腹付近で大手道の発掘調査を行い、史跡整備のための資料とするとともに、歴史館の北東側で織田信長が築いた石垣等を復元する史跡整備を行います。



令和4年度に実施した整備で復元した石垣(歴史館西側)

## 充実

# 中心市街地活性化事業

都市政策部 都市整備課

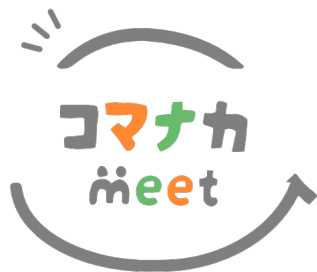
1 予算額 6,809千円

2 目的及び効果 「小牧市中心市街地グランドデザイン」に基づき、将来にわたって魅力があふれ、活力が持続する中心市街地としていくため、当面の取組をまとめた「小牧市中心市街地グランドデザインアクションプラン」に位置付けられた各種事業を進め、まちの将来像の実現を目指します。

### 3 事業概要

住民や商店、関係団体等がつながる場である「中心市街地まちづくりプラットフォーム」において、LINEのオープンチャットを活用したオンラインでのつながりやワークショップ等による対面でのつながりなど、様々な形でつながる機会を提供し、プラットフォームの登録者の増加を図るとともに、各主体が連携・協力して施策を推進しています。

令和6年度は、プラットフォームなどを通じて中心市街地の活性化を目的に集い・出会った人々が、自ら企画を立ててチャレンジしながら街を元気にしていくプロジェクトである「コマナカ meet」を実施し、中心市街地において市民等による自主的なまちづくり活動が継続的に展開されるよう支援します。



【プラットフォーム登録数】103名（令和6年1月末現在）

# 東部まちづくりプラットフォーム推進事業

都市政策部 東部まちづくり推進室

1 予算額 9,587千円

2 目的及び効果 東部振興構想の実現に向け、住民をはじめ、東部地域に関係する人たちと、まちの課題やまちづくりの方向性を共有し、夢と希望をもって連携・協力した取組を推進します。

## 3 事業概要

### (1)東部まちづくりプラットフォームの構築

東部振興構想の実現に向けて、地域に関わる様々な主体がつながる場となる「プラットフォーム」の拡充を図ります。

【プラットフォーム登録数】108名(令和6年1月末現在)

### (2)東部地域トライアル活動支援補助金

住民等によるまちづくりの取組促進を図るため、トライアル活動に対する支援を行います。

#### 【令和5年度トライアル活動】

- ◆「地産地消プラットフォーム」でのレシピ公開と料理会の開催
- ◆大学生がモデルとなった大学祭でのフォトコンテストで、東部地域の魅力をPR
- ◆産学官福が連携したフードロス商品開発プロジェクト など



## 充実

# 企業新展開支援プログラム推進事業

地域活性化営業部 商工振興課

1 事業年度 令和6年度～令和8年度

2 予算額 117,472千円

3 目的及び効果

新型コロナウイルス感染症の影響、AIやIoT等のデジタル技術の浸透、SDGsやカーボンニュートラルなど大きく変化する社会経済環境に対応するため、令和5年3月に改定した小牧市企業新展開支援プログラムに基づき、補助制度の見直しや新たな制度創設を行い、産業振興施策を推進します。

4 事業概要

(1)事業承継相談窓口の設置

愛知県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、市役所内で定期的に無料の事業承継相談窓口を設置し、事業承継に関する課題解決の促進を図ります。



(2)デジタル化支援補助金

社内の生産性向上に向けたデジタル技術の導入・活用にかかる費用に対する補助を行うことにより、事業のデジタル化・DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組の促進を図ります。

【補助額】対象経費の1/2 (上限100万円)



(3)ウェブサイト・ECサイト導入支援補助金

自社ECサイト導入及びホームページの開設・改修にかかる費用に対する補助を行うことにより、情報発信や販路開拓の促進を図ります。

※前年度受給者は対象外

- ① ホームページの開設・改修  
【補助額】対象経費の1/2(上限15万円)
- ② 自社ECサイト導入  
【補助額】対象経費の1/2(上限25万円)



(4) **新規**地場産品創出支援補助金

自社で最終製品(地場産品)を製造・加工するための設備導入にかかる費用に対する補助を行うことにより、新たな販路開拓、新事業展開の一端としてEC市場への進出の促進を図ります。

【補助額】対象経費の1/2 (上限100万円)



(5) 人材確保支援補助金

求職マッチングサイトの登録料や、合同説明会への参加料に対する補助を行うことにより、市内中小企業、小規模事業者の人材確保の促進を図ります。

- ① 求職マッチングサイトの登録料  
【補助額】対象経費の1/2(上限10万円)
- ② 合同企業説明会の参加料  
【補助額】対象経費の1/2(上限20万円)



(6) 副業・兼業人材活用支援補助金

中小企業や小規模事業者に対して副業・兼業マッチングプラットフォームの利用に要した費用に対する補助を行うことにより、人材不足の解消や新たな事業に対する取組を支援します。

【補助額】対象経費の1/2 (上限10万円)

● 上記内容や前プログラムから継続して実施する様々な補助制度や取組により、市内事業者に対する支援を展開していきます。

## 企業立地推進事業

地域活性化営業部 企業立地・次世代産業推進課

1 予算額 284,569千円

2 目的及び効果 企業立地の推進を図ることにより、地域経済をより豊かにし、雇用力を高め、地域の活性化を図るとともに、財源の確保につなげ、より安定した財政基盤を確立することで、産業都市「小牧」の力を持続的に高めます。

3 事業概要

○ 小牧市企業立地促進補助事業 122,334千円

市内に一定規模以上の工場等を立地する企業に対し、優遇制度として補助金を交付します。

	工場等新增設事業	既存工場等入居事業
補助金の額	新設又は増設をした工場等に係る固定資産評価額に8%(市外からの新規企業又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%(いずれか1回に限る。))を乗じて得た額以内	工場等に入居をするに伴い新たに取得した構築物、機械及び装置に係る償却資産の固定資産評価額に8%(市外からの新規企業又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%(いずれか1回に限る。))を乗じて得た額以内
最高限度額	1億5,000万円	1,500万円

※住工混在移転、航空宇宙関連産業立地又は次世代産業立地のいずれかに該当する場合は、補助率を2%上乘せします。

## ○ 小牧市内企業再投資促進補助事業 151,774千円

愛知県の補助制度と連携し、市内に立地する企業の再投資を支援します。

補助対象	20年以上県内に立地する工場等を有し、かつ、10年以上市内に立地する工場等を有する企業で、工場、研究所の新增設等を行う企業
対象経費	固定資産取得費用(土地を除く。)
補助率	10%以内(県支援分は5%以内)
限度額	10億円(県支援分では5億円)

## ○ 小牧市中小企業環境保全対策設備等導入補助事業 10,000千円

周辺住民への配慮のため、工場等の騒音、振動及び臭気を防止する設備等の新規導入又は改修等を実施する市内中小企業に対し、補助金を交付します。

補助対象	市内に立地する製造業などの中小企業
対象経費	設備等の新規導入又は改修等に係る費用
補助率	50%以内
限度額	500万円



その他の支援制度 令和6年度当初予算に計上のないもの

- 小牧市高度先端産業立地促進補助事業  
愛知県の補助制度と連携し、高度先端産業に係る工場の新増設等を行う中小企業を支援します。
- 小牧市企業立地インフラ整備支援補助事業  
小牧市企業立地促進補助事業等の対象となる工場等の新設又は増設に伴うインフラ(道路・水路・水道施設)整備に対し、補助金を交付します。

**充実**

**次世代産業推進事業**

地域活性化営業部 企業立地・次世代産業推進課

1 予算額 28,353千円

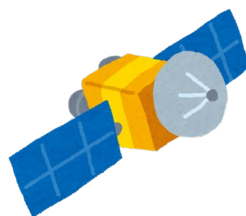
2 目的及び効果 社会経済環境が大きく変化する中、次世代を担う産業の成長が求められていることから、新たな成長産業を呼び込む・育むとともに、次世代産業に取り組む企業を支援し、次世代産業の推進を図ります。

3 事業概要

○ 中小企業次世代産業設備等導入補助金 20,000千円

次世代産業分野における製品の開発、生産等を行うため新たな設備を導入する市内中小企業に対し、補助金を交付します。

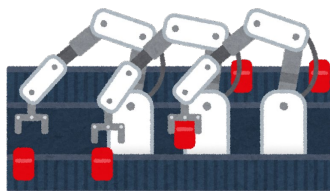
対象経費	次世代産業分野における製品の開発、生産等を行うための設備等(1設備当たり1,000万円以上のもの)
補助率	1/10以内
限度額	1,000万円



○ 次世代産業販路開拓支援補助金 2,000千円

次世代産業の販路開拓のため展示会等に出展する市内事業者に対し、補助金を交付します。

対象経費	展示会等の小間料
補助率	2/3以内
限度額	100万円





## ○ 次世代産業インターンシップ受入助成金 600千円

市内に製造拠点等を有する次世代産業関連企業のインターンシップの受入れに要した費用の一部を助成します。

助成金の額	受け入れた学生1人につき1日当たり8,000円
限度額	96,000円

## ○ 次世代産業人材育成研修費補助金 1,500千円

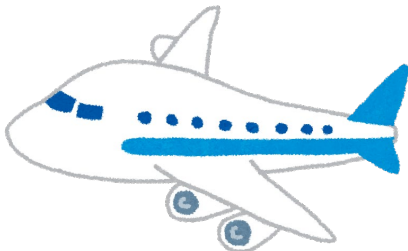
従業員等が次世代産業関連分野に関する業務に係る研修等を受講した市内事業者に対し、補助金を交付します。

対象経費	研修等の受講料
補助率	2/3以内
限度額	1回の研修等につき1人当たり10万円 1事業者当たり25万円

○ **新規** 航空宇宙産業認証費補助金 4,000千円

航空宇宙産業固有の認証(JISQ9100 認証又は Nadcap 認証)を取得する市内事業者及び保有する当該認証を更新する市内中小企業に対し、補助金を交付します。

対象経費	① 受審料等の認証の取得費用 ② 受審料等の認証の更新費用
補助率	①・②ともに1/2以内
限度額	① 1認証当たり150万円 ② 1事業者当たり20万円



## 【次世代産業の一例】

- (1) 次世代自動車関連分野
- (2) 航空宇宙関連分野
- (3) 環境・新エネルギー関連分野
- (4) 健康長寿関連分野
- (5) 情報通信関連分野
- (6) ロボット関連分野 など